

令和３年度 第２回珠洲市入札監視委員会 議事概要

開催日時及び場所		令和３年１１月２４日（水）午前１０時から１１時３０分まで 庁舎３階会議室	
出席委員		木田 紀子 出席 三盃 三千三 出席 委員長 田畠 邦章 出席 （敬称略 五十音順）	
次第		１ 開 会 ２ 挨 拶 ３ 珠洲市入札監視委員会委員長並びに職務代理者の選任について ４ 議 事 （１）珠洲市入札契約制度について （２）審議対象工事（業務）の抽出結果の報告 （３）審議対象工事（業務）の審議 （４）その他 ５ 閉 会	
審議対象期間		令和３年４月１日～令和３年９月３０日	
抽出件数		５件	
建設工事等	一般競争入札	１件	・（仮称）珠洲市新保育所 建設工事（敷地造成）
	指名競争入札	３件	・ 奥能登国際芸術祭 旧西部小学校体育館改修工事（屋外付帯） ・ 珠洲市花き栽培センター 高圧ケーブル取替工事 ・ 水道管路緊急改善事業（三崎地区その２） 配水本管布設替工事（１工区）
	随意契約	１件	・（仮称）珠洲市新保育所整備事業に伴う実施設計業務
委員からの質問及びそれに対する回答等		別紙１の通り	
委員会による意見の具申内容		具申なし	

別紙 1

質問・意見	回答
・珠洲市入札監視委員会委員長並びに職務代理者の選任について ・珠洲市入札契約制度について ・落札決定後に契約を辞退することは可能か。 ・指名停止措置の期間はどの程度か。 ・落札者が契約を辞退した場合、新たな契約者はどのようにして決定するのか。 ・(仮称)珠洲市新保育所 建設工事(敷地造成) 【一般競争入札】 ・入札条件のうち、土木一式工事に対応する資格を有する者とあるがどのような資格があげられるのか。 ・市内事業者の資格者数は把握しているのか。	委員の互選により委員長に田畠委員、委員長の指名により職務代理者に木田委員で決定する。 ・不可能ではないが、その場合は指名停止措置を講じることとなる。 ・案件により異なるが、規則上 1 か月以上の指名停止となる。 ・入札者が複数いる場合、2 番目に安価な金額を提示した者と随意契約を締結することとなる。 ・土木施工管理技士等があげられるが、今回の工事規模では 2 級の技術者の配置でも可能であった。 ・2 級技術者をはじめ 1 級の技術者を複数人雇用されている事業者も存在する。

・落札者候補者はくじ引きで決定しているが、他にもくじ引きで落札者を決定した案件はあるのか。 ・同額での応札が複数者存在するが、どのような要因が考えられるか。 ・奥能登国際芸術祭 旧西部小学校体育館改修工事(屋外付帯) ・建築一式工事に関して、等級と総合点数の関係性を確認したい。 ・説明中、工事内容を考慮しB等級業者を優先的に選定したとのことであったが、詳細な選定理由を確認したい。 ・B等級を優先的に選定したにも関わらず、A等級業者が選定されている理由は。	・年に数十件ほどくじ引きにより落札者を決定している。 ・事業者の積算精度が向上していることが要因と考える。 ・建築一式工事の場合、A等級に格付けされる場合は650点以上の総合点数が必要となる。 また、1,000万円以上の工事の場合はA等級、1,000万円未満の場合はA・B等級を対象に選定することとなる。 ・珠洲市の規則では、A・B等級を対象とした建築一式工事の場合であっても、非木造施設を対象とした工事の場合は、A等級から選定するとの基準が存在する。 そのため、B等級に格付けされる事業者は入札参加機会が制限される場合がある。 今回の工事は木造物を建築する工事であり、対象等級もA・B等級であったことからB等級を優先的に選定した。 ・珠洲市の規則上、この工事での選定業者数は6者以上であった。 しかし、市内に本店を有する建築一式工事のB等級業者は3者のみでありB等級業者のみで指名業者を確保することは困難であった。
--	---

・珠洲市花き栽培センター 高圧ケーブル取替工事 【指名競争入札】 ・落札決定から契約締結までが非常に早くなっているが、契約書の早期提出は求めているのか。 ・水道管路緊急改善事業(三崎地区その2) 配水本管布設替工事(1工区) 【指名競争入札】 ・工事名に緊急とあるが、緊急性を要する工事である場合の契約方式は随意契約の方がよいのではないか。 ・最低制限価格は1,000円単位止めとしているようだがいつ頃からか。 ・落札率は約88%となっているが、落札率は低いと感じているか。	市外にはB等級業者は存在するものの、市内業者の受注機会確保の観点からA等級に格付けされる3者を選定した。 ・珠洲市の規則上、落札決定を通知した日から閉庁日を除き5日以内に契約を締結することとなっている。 期限内提出の徹底をお願いしているのみであり、早期提出は求めているない。 ・工事名の「緊急改善事業」は国の補助事業の名称である。 災害等に伴う復旧工事と比較した場合、緊急性は低いことから指名競争入札としている。 ・正確な時期は分かりかねるが、少なくとも平成25年度からは1,000円単位止めであったと記憶している。 ・最低制限価格と同額での応札であることから低いとは感じていない。
---	--

・この工事も複数者が同額で応札しており、積算制度の向上が見受けられるが、制度が向上している理由として考えられることは何か。 ・(仮称)珠洲市新保育所建設工事に伴う実施設計業務 【随意契約】 ・落札率が非常に高くなっているが、競争性が低かったのではないかな。	・各事業者が積算のために使用するソフトを導入しているほか、設計図書の情報公開請求が増加しており、事後検証の実施など企業努力によるものと考えている。 ・本業務は基本設計業務の受注者と一者随意契約を締結している業務である。 基本設計業務ではプロポーザル方式を活用し、事業者からの提案を評価したうえで契約の相手方は選定している。 事業者間の競争は基本設計業務への提案の際に実施されているため、競争性が低かったとは考えていない。
---	--